

# Go-Ahead

<http://toyono-jinjikyō.com/>

4

平成 29 年度 (2017 年度)  
学校組織マネジメントについて  
@箕面市教育センター

## ☆学校組織の特徴・組織マネジメントとは？

第 4 回目の研修講師は、兵庫教育大学大学院、浅野良一先生でした。中堅教員の立ち位置とめざすところ、学校組織の特徴、組織マネジメントのあり方とそのヒント等についてご講義いただきました。

### ☆中堅教員として

3つのキャリアステージの図より、10年目を迎えた今は、自分の強みを磨く時期なのだと改めて認識しました。経験の浅い先生がたくさん増えてきて、学年グループや分掌の中での責任も大きくなっているので、意識しながら仕事をしていきたいと思いました。

これからは「キャリア深耕期」として、自分の強みを磨く時期だということを知り、苦手なところや足りないところばかりに目を向けていた自分を反省しました。自分の強みとは何かとまだ漠然としているところもありますが、何となく見えてきた実感もあったので、ここをもっと掘っていく必要をとっても感じました。

ミドルリーダーというか、中堅としての立ち位置がわかった。もう少し自己研鑽というか専門領域を深めることに力を入れて良いのだと思った。最近、周りの面倒を見たり、全体を動かしたりする場面が多くなってきているので…。今日の話は、また学校で若手の教員にも伝えたいと思った。

マネジメントとは学校に関連しているとは思っていませんでしたが、これからはそういう視点をもたなければいけないと感じました。「多忙感」というフレーズにははっとさせられました。「三遊間のゴロを捕りにいく人材」になろうと思いました。

### ☆SWOT 分析について☆

SWOT 分析をグループでできたのは、すごく面白かったです。強みが何なのかを考えるきっかけになりましたし、他の学校の先生の話を知り、また別の良さを見つけることができました。マイナスよりもプラスを活かすというのは様々な場面で使える考え方だと思いました。

SWOT 分析は自分の学校の良いところを見直す良い機会になりました。他の学校の様子を知ることによって自分の学校の良いところ、改善点を感じるようになりました。

### ☆めざす子ども像・学校像について☆

めざす子ども像は形骸化している面もある、今日学んだように、力の入れどころや、誰のためのどのような目標にするのかを意味あるものにする必要があると感じた。

学校像については、子どもの為にどうあるべき学校という視点だけでなく、地域・市町などより広い視野を持つことに気づかされました。校長先生が何を目標として学校経営をしているか分かれば、仕事がしやすいということにも納得できました。

「学校の良いところ」「自分の強み」……普段から意識し、これをさらに伸ばしていくことの大切さに気づいたという感想が今回多くありました。

学校組織を良くしていくために、どういう点から着手していけばよいか、どんなヒントがあるのかも、浅野先生のお話から気づけたのではなかったでしょうか。

次回 2 月が校外研修の最終回となります。レポートに沿ってそれぞれが考えるアクション・プランについて発表・交流を行い、次年度につなげていって欲しいと思います。

